環境観光モデル都市づくり推進特区地域活性化方針

〔平成23年12月22日
内閣総理大臣決定〕

1. 地域の活性化に関する目標及びその達成のために取り組むべき政策課題

(1) 総合特区により実現を図る目標

- ① 地方都市に特有な工場・住宅等の近接、自動車依存といった実態を踏まえ、工場と家庭が一体となった地域完結型のエネルギーマネジメントを目指した地域の構築を目指す。
- ② 特色ある環境技術を活かした産業観光や、エコモビリティを活用した観光の低炭素化に取り組むことにより、環境観光をコンセプトとした新たな地域振興モデルの構築を目指す。

(2) 国と地方で共有する包括的・戦略的な政策課題

① エネルギー利用の高度化

電気自動車等の導入によるガソリン自動車依存からの脱却、再生可能エネルギーの活用促進などにより、環境負荷が少なく、電源喪失時等への対応可能な自立的エネルギー供給システムを確立するなど、エネルギー利用の抜本的な高度化の実現が求められている。

このためには、地域で培われた環境技術や日本有数の日射量などの地域資源を最大限活用するとともに、多様な主体の参画のもとで、地域ぐるみで最適なエネルギー利用モデルを構築する必要がある。

② 地域経済の活性化

本地域に蓄積された環境関連技術や、地域が保有する「海の資源」（潮流エネルギー等）などを活用した新たな環境産業の創出とともに、地域特有の環境資源や観光資源を活用し、それらを広域的に連携させることによって観光集客力を向上していく必要がある。

2. 目標を達成するために指定地方公共団体が実施し又はその実施を促進しようとする事業に関する基本的事項

(1) 解決策

① エネルギー利用の高度化の解決策

再生エネルギー、リサイクル、廃棄物処理、省エネ等、これまで地域が培ってきた環境技術と地域の日射量を活用するとともに、企業城下町としての地域特性を活かし、地域完結型のエネルギーマネジメントを目指した地域づくりや電気自動車、船舶の活用に係る環境整備を進め、造船工場区域を中核とした産業部門（工場）と民生部門（家庭）が連携したエネルギー高度利用システム（臨海型スマートコンパクトシティ）の構築を図る。

② 地域経済の活性化の解決策

本地域が有する「しまなみ街道」、等の観光資源と「びんごエコタウン」等の環境・エネルギー技術展示及びサイクリング等の体験観光を有機的に結びつけ、オンライン観光コンテンツの整備、特色あるモビリティ（電池遊覧船、電動原動機付自転車等）の開発・導入等の環境整備、新たな産業観光エリアとしてのPR、キャンペーン等を図る。

(2) その他

上記に係る事業のうち、新たな規制の特例措置等に係るものについては、申請者からの提案をもとに国と地方の協議の場における協議の議題とし、関係府省は、その協議の結果を踏まえ、関係機関と調整を図りながら、必要な措置を講ずるものとする。

3. その他必要な事項

特になし。